

認知症予防とレクリエーション活動の研修講座

東大和市レクリエーション協会

〒207-0013 東京都東大和市向原 6-9 3 6-1 0 コーポエイコー205

助成事業の概要

現在「認知症」に関する知識・理解が急激に深化しています。

しかしながら福祉現場ではその知識・技能が十分に生かし切れていません。

このこととはしばしば利用者及びその家族からばかりでなく、現在福祉の現場で働いている職員さんからも聞くことも多いです。即ち現在の仕事が忙しく余裕のない勤務体制であることや、施設の経営者に良質なサービスという感覚ではなくソロバンの経営感覚であることなどが指摘されています。NHKを始め多くのマスメディアが認知症の研究成果をいち早く国民に伝えています。家族としては当然の役割として「認知症」に対応できる介護職員や、福祉施設であることが期待されています。

私どもは早くから「遊び」と『レクリエーション』が人間の心の健康になくってはならない事や生活するうえでの必須の条件であることなどを主張してきました。更に今日の研究では「遊び」と『レクリエーション』が「認知症」にも予防や対策として優れた成果を示しております。私どもは福祉に関わる全ての人が「遊び」や『レクリエーション』の考えや手法を取り入れるなら福祉利用者への良質なサービスの提供になるばかりでなく、福祉現場で働いているすべて人にとって働き甲斐のある生き生きとした職務として作用することだろうと主張してきたところです。

その証拠に認知症に限らず福祉現場のスキルアップ講習会では『レクリエーション』の実技や

考えを外すことはありません。最初であれ、最後であれ必ず「遊び」と『レクリエーション』が取り上げられております。

ただ残念なのは福祉現場の主たる知識や技能、考え方の主流ではなく、チョットした知識、やれると便利かもしれない技能といった感覚で終始していることです。(いまだに)

私どもは今回の事業で「遊び」や『レクリエーション』を中心に据えて「認知症」との関わりの中で多くのできることを研修できたと考えております。

事業の成果

【開催会場】

東大和市中心公民館の会議室、ホール、市民体育館（実技実習）

【講習会概要】

開催日／講師／資格／学習テーマ

16月19日／大内都子／目白大学講師、音楽療法士、認知症ケア専門士／音楽療法とレクリエーション

7月10日／湯川恵子／東京都レクリエーション協会公認講師／歌体操

8月21日／村松節子／東京都レクリエーション協会公認講師／サロン活動のために

9月18日／吉岡裕美／作業療法士、認知症ケア専門士／認知症とレク支援

10月16日／高橋 伸／国際キリスト教大学専任講師／レクリエーションゲーム指導法

- 11月23日／高木住子／日本レクリエーション協会公認指導者／サロンでのレク実技その①
- 12月17日／飯坂徳雄／東京都レクリエーション協会公認講師／現場でのレク支援方法
- 1月22日／高木住子／日本レクリエーション協会公認指導者／サロンでのレク実技その②
- 1月29日／湯川恵子／東京都レクリエーション協会公認講師／歌体操②
- 2月19日／飯坂徳雄／東京都レクリエーション協会公認講師／アイスブレイキング標準モデル

ただし、上記のプログラムは様々なサロンをはじめとする福祉現場での支援方法を想定して可能な限り実技演習を取り上げている。

これは「レクリエーション」をその場だけの一過性で終わらせるのではなく計画的でより支援の明確化されたプログラム構築のスキルアップを目指した実技実習にしています。

■ 成果の広報・公表

研修報告書並びに逐語プログラムとしてまとめた。

研修報告書は一連の講師の講義のレジメ資料をまとめたもので冊子を参照して下さい。

また逐語プログラムはサロン等でのプログラムとそこでのレク支援を逐語（その場での実際の話ことばで書いたもの）記録にして冊子にまとめたものです。

これらの冊子を市内の福祉施設及び行政、社会福祉協議会の担当者に配布します。

■ 今後の展開

今回の研修を機会にして継続的な研修の必要性に気づき次年度も学習会を開催することが確認さ

れている。

特に実際の指導にかかわる部分では

- ①レク支援のスキルが未熟である。このことの自覚からもっと逐語プログラムをもとに研修をかさねる。
- ②利用者の様々な症状に合わせた「症状別レクプログラム」へと研修。
現場ではより具体的な支援を求められているのでより詳しい勉強が必要である。
- ③支援者ネットワークをつくる。

旧来とも市役所指導ペースで市内施設の連絡会があったが行政の必要に応じたものであった。働いている各施設とも共通の悩みを持っている職員も多いのでより多くの知恵を出し合う場が必要であることから支援者や職員の立場からのネットワークの必要性が指摘された。

この研修会には複数の施設からの参加者がおり支援者ネットとしての機能をもたせるようにしていきたいと考える。